

## これから学校説明会などのお知らせが続々



教室に進路コーナーが着々と準備されます。また、進路係が中心となって、掲示や連絡をしてくれます。進路だよりの中でも、随時お知らせしていきますが、関心というアンテナを立てていないと、知らないうちに行きたかった説明会が終わっていたということにもなりかねません。朝と帰りの会での連絡や配布がほとんどですので、よく話を聞いて、進路コーナーの掲示も見るように心がけてください。（詳細は、下に記載）

HPの内容を確認したい、もっと詳しいことを知りたいなど、学校説明会についての問い合わせや相談は担任や進路担当まで遠慮なく来てください。

## 見学会・体験入学にすすんで参加しましょう



自分の進路を決めるために、十分な調査もしないで決めてしまう人もいます。合格し、通学することが許されるとその学校に3年間身をおくことになります。高校の3年間も、中学の3年間と同じようにあっという間に過ぎ去ってしまいます。短い期間ですが、その3年間の過ごし方によっては、成長の仕方に大きな差がでてくる大切な期間であり、その後の進路や将来をも決めかねません。まして、就職を考えているならなおさらです。

1学期は「学校説明会」、夏休みには「体験入学」等があります。これからは、冊子や本の学校案内等を通して机上で知るだけでなく、実際に君たちの足で出向いて、君たちの目でその様子を見ておきたいものです。その積み重ねが、受験校を決める時に大きな判断材料となります。

また、左の「参加届」を各教室に置く予定です。学校説明会や体験入学、個別相談会に参加した場合は、忘れずに進路コーナーにある参加届（私立は赤、国立・県公立は青の用紙）を担任に提出してください。（この提出により、担任の先生は「マイノート」のように、生徒一人一人の動きを把握することができます。）

また、掲示物や「進路だより」の案内をよく見てください。後になって「参加しておけばよかった」とか、申し込み忘れのないようにしましょう。

毎年、保護者の方々や生徒の質問の中に、以下の質問が多くあります。

## Q. 何から勉強すればいいのか？



A. 「受験生⇒受験勉強」。それはわかっているけれど、いったい何からどう勉強すればいいのか、わからない。そういう声が聞こえてきます。まず、最初にやるべきことは、年間を通じた計画づくりが必要です。これまで定期テストごとに立てていた計画とは少し違います。教室の進路コーナーに張り出した「進路の主な予定・計画」をノートサイズに縮小したプリントを学活・道徳・総合ファイルに入れていると思

います(4月の進路ガイダンスで配布済)。すぐに、年間計画を立てましょう。年間計画のように長期の計画の場合は、細かいところまで詳しく立てる必要はありません。学校の行事計画を参考に、テストや行事の日程を確認し、記入していきます。計画を立てるにあたっては、目標が必要です。月末や定期テストの後など、節目となる時点で年間計画と自分の達成度を見直し、必要に応じて計画を修正しましょう。

また、これから受験生として勉強を始める場合、どこから手をつければいいのか。まず、1・2年生の復習から始めましょう。これまでの定期テストができていても、時間がたつと忘れてしまうものです。わからないことはそのままにしないことが大切です。また、下の県公立入試の日程も参考にして、ぜひ自分が実践していく計画を立ててみましょう。

.....

<県公立入試の日程が4月19日付で発表になりましたので、ご確認ください>  
※詳細につきましては、例年7月に埼玉県教育委員会のHPで発表となります。

令和7年度埼玉県公立高等学校入学者選抜の日程	
令和7年	
1月27日(月)～2月10日(月)	出願入力期間(インターネットを活用した出願を実施)
2月13日(木)、14日(金)、17日(月)	出願書類等の提出期間 ※2月13日は郵送による提出
2月18日(火)、19日(水)	志願先変更期間
2月26日(水)	学力検査
2月27日(木)	実技検査(芸術系学科等)、面接(一部の学校)
3月3日(月)	追検査
3月6日(木)	入学許可候補者発表
※ 追検査はインフルエンザ罹患をはじめとするやむを得ない事情により学力検査を受検できなかった志願者を対象とする。	
※ 入学許可候補者発表後に実施する欠員補充の日程及び内容については、実施する高等学校において定める。	

最後に、ゴールデンウィークが終わると、中間テスト2週間前となります。有意義なゴールデンウィークにしてください。